

令和5年度 第3回 入野小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月22日（木） 14:00～15:45
- 2 開催場所 入野小学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 幸子、山田 渉、大塚 哲雄、青木 有美、岩田 邦泰
田中 大輔、原田 実穂
- 4 欠席委員 中村 勝彦、古橋 明美
- 5 オブザーバー 徳増 宏之（入野協働センター所長）
- 6 学校 伊藤 真理（校長）、山下 淳（教頭）、野中 律宏（教務主任）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 辻村 久江

9 議長の選出

司会から議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から田中委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価
- （2）来年度の学校経営方針
- （3）学校運営協議会の自己評価
- （4）いじめ防止基本方針について
- （5）夢育やらまいか加算分報告

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

12 熟議

- （1）学校関係者評価

議長の指示により、教務主任から2学期に行ったアンケートの集計結果とそれをもとに職員で考察した来年度の実践取り組みについて、資料に基づいて説明があった。

これに対し、委員からは以下の発言があった。

- ・挨拶についての項目で、子供たちの評価と先生方の評価に大きな違いがあるが、子供たちに対して先生方の評価をフィードバックしているか。それをしていないと、子供たちが思っていることと先生が思っていることが違うという気付きがないのではないか。（岩田委員）

- ・いじめについての項目で、子供は25%があるという認識を持っているのに対し、先生や保護者はあまり認識できていないのが怖いと思った。当事者である子供たちのアンケートの数字が実態かなと思う。子供たちのつながりは学校外でもあり、学校外で起こったことが学校に持ち込まれる場合もあると思う。どうやって認識するか、また保護者との連携について検討していただけるか。(田中委員)
- ・アンケートはどれくらいの回数を想定しているか。(岩田委員)

→アンケートは浜松市全体のもものと本校独自のものをあわせて年間5回程度を想定している。ただ、アンケート以外でも常に話を聞ける状態にしておかないといけないと考えている。また、保護者の方への伝え方についても考えていかなければいけないと思う。(教務主任)

- ・アンケートについて、1年生と6年生ではずいぶん違うのに、それを平均してしまうと本当に実態を示しているのかな、と思う。低学年と高学年に分けてアンケートを変えてみるとよいのではないか。(鈴木委員)
- ・アンケートについて、親御さんは自分の子供だけを見る、先生は子供たち全体を見るので違いが出ると思う。しかし大切なのは子供たちがどう感じているかということ。また、行事について、保護者からの行事を増やしてほしいという意見があるが、これは子供の様子を見るチャンスをより増やしてほしいということではないか。先生方の教材研究の時間の確保も必要で、そこをどう調整するか。何のための行事かという観点で先生方も行事を考えていった方がいいと思う。(大塚委員)

(2) 来年度の学校経営方針

議長の指示により、校長から資料に基づいて令和6年度学校経営構想とグランドデザインについての説明があった。

これに対し、委員から以下の意見があった。

- ・学校経営構想の話の中で、失敗してもいいから子供たちに小さな行事から任せてみるということがあったが、失敗を恐れず、また失敗したらそれを成功に結びつけていこうとする意識が大切だと思う。教職員の信用失墜行為の根絶については、徹底して事あるごとに指導していただきたい。(大塚委員)
- ・「健やかな体と心をつくる子」に関して、以前は体力測定の歴代の記録が掲示されていて、それを目標に子供たちが頑張っていたので、そういうものがあると良いと思う。また、あいさつについてはできる子とできない子がいると感じる。(青木委員)
- ・あいさつ自体が怖いと感じる子もいるのではないか。知らない人にあいさつをされて不審者案件としてメールで送られてくることもあり、親を含め、知らない人には関わ

らないと考えることもあるかもしれない。あいさつは絶対した方がいいと思うが、自分も若い頃は恥ずかしさや返事が返ってこなかった時の怖さでためらうこともあった。防犯との兼ね合いも考えながら子供たちに伝えなければならないのが課題だと思う。(原田委員)

- ・毎朝あいさつに立っていると、はじめはこちらからあいさつをした時にキョトンとしている子でも次第に慣れていく。毎日言葉を交わすことで子供たちの成長も感じられて楽しい。(鈴木委員)
- ・見まもりに立ってくださっている方々のような、子供たちが顔を知っている、安心な大人が地域にたくさんいるといいと思う。(原田委員)

議長より、学校経営方針については大きな異議は無く、委員の意見をふまえて学校として取り組んでいってほしいとの発言があり、全員異議無くこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長より、自己評価については各自記入したものを提出し、まとめた上で会長に確認いただく形で言う旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

(4) いじめ防止基本方針について

教頭より、いじめ防止基本方針について以下の説明があった。先のアンケートで25%の子供がいじめがあると感じているという結果もあったが、学校ではホームページにも載せているいじめ防止基本方針に則って取り組んでいる。子供たちがきちんと言い出せる環境づくりや、あたたかな学級づくりといったような「前始末」でいじめができるだけ起こりにくい環境作りが大切だと考えている。これについてご意見があれば伺いたい。

これに対し議長より、そのような認識ですすめていただきたいとの発言があり、全員異議無くこれを承認した。

(5) 夢育やらまいか加算分報告

教頭より、資料に基づき夢育やらまいか事業の報告をし、全員異議無くこれを承認した。

13 連絡事項

◆入っ子サポーター募集について

青木委員より、卒業生の保護者有志で構成している入っ子サポーターを現6年生の保護者を対象に募集するとの報告があった。